

【参考】 国際機関の概要（ICID及びINWEPF）



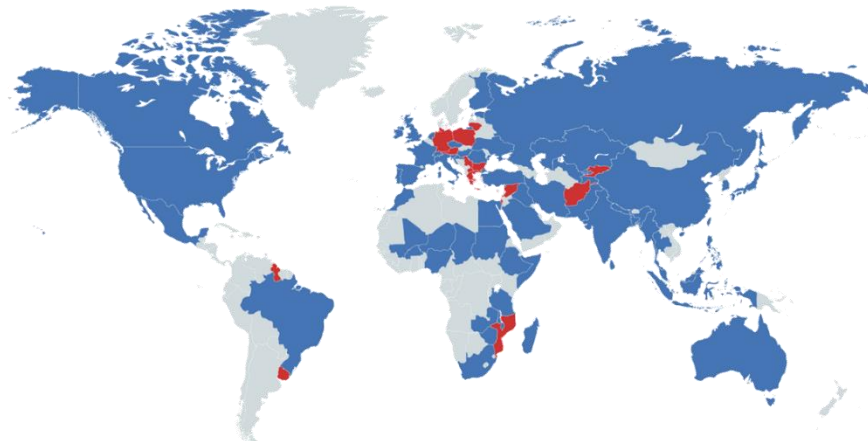
国際かんがい排水委員会（ICID：International Commission on Irrigation and Drainage）

ICID-CIID

- かんがい排水に係る科学的・技術的知見により、食料等の供給を世界規模で強化することを目的として1950年に設立された自発的非営利・非政府国際機関。
- 世界の78の国と地域が加盟し、各国は国内委員会を設置。我が国は1951年に閣議決定の上加盟。

ICID Vision 2030（2015年10月ICID国際執行理事会採択）

- ・ 「持続可能な農村開発を通じた、貧困と飢餓から解放されたwater secure world（水供給が保証された世界）の実現」を目的とし、6つの組織目標（Goal）を設定。このうち、下記3目標に情報共有・能力開発の分野を掲げ強化。
 - 目標3． 情報、知識そして技術の交換を促進する。
 - 目標4． 学術間、部門間で横断的に関与できるようにする
 - 目標6． 能力開発を促進する。
- ・ 2017年9月に策定されたアクションプランでは、YP（Young Professional）制度の活用を推進（YP制度：40歳未満の専門家に対し、会議参加費の減額や作業部会への参加資格を付与）。その後、2018年10月、アフリカYPフォーラムが設置。



メンバー

アソシエイト



国際水田・水環境ネットワーク（INWEPF：International Network for Water and Ecosystem in Paddy Fields）

- 第3回世界水フォーラム（2003年3月京都）の一環として開催された「水と食と農」大臣会議を契機に、我が国が主導して創設した水田農業・水環境に関する国際ネットワーク。（2004年11月設立）
- 上記大臣会議で採択された3つの挑戦「食料安全保障と貧困軽減」「持続可能な水利用」「パートナーシップ」の具現化を目的とする。

- ・ メンバー国： 日本、韓国、中国、マレーシア、カンボジア、スリランカ、ネパール、タイ、インドネシア、ベトナム、ミャンマー、フィリピン、ラオス、バングラディッシュ、エジプト、インド、パキスタン（17カ国）
- ・ 関係国際機関： FAO、ICID、IWMI（国際水管理研究所）、MRC（メコン河委員会）等

